

# コミュニティ・スクールだより



第34号

名張市教育委員会事務局発行  
令和4(2022)年10月5日

## 「CSカレンダー」が有効！

令和4年度の下半期が始まりました。各校でのコミュニティ・スクールの取組は、それぞれの学校で独自色が出てきました。どの学校でも経営方針に基づいた具体的な取組が進められています。

取組を進める中で見えてきたことは、「学校全体として、いつ、どの学年が、どのような活動をしているのか(しようとしているのか)分かりにくい」という点です。中には、これまで継続してきた取組が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて途絶えてしまい、ご支援いただいている方が分からなくなっているなど、引継ぎに課題が見られるケースもあります。

このような状況下において、市内の小学校で、教職員をはじめ地域住民、保護者等に、誰でも一目でわかるようにと、コミュニティ・スクールに関わる取組の年間計画(「CSカレンダー」)を整理する取組が進められています。今回は、その一部を紹介します。

### ○箕曲小学校(一部抜粋して掲載)

	4月	5月	6月
学校	授業参観 学級懇談会 (4/22)	田植え(5/9) 遠足(5/17) こっつこ週間 (5/9~5/14) クラブ活動 (5/27) 運動会(5/28)	クラブ活動 (6/20) 全校集会 (6/22) 学校運営協議会 (6/1) ボランティア交流会(6/9)
PTA 家庭	PTA総会(4/22) (書面決済) 《常》 登下校支援	運動会5/28 田植え5/9	交通安全教室 6/8
地域	ゲストティーチャー(〇〇さん) 4/27 《常》 登下校支援	田植え5/9 遠足5/17 ゲストティーチャー(〇〇さん) 5/20 読み聞かせ 5/11 25 さつまも苗植え 5/28 引率補助 5/16 24 31	プール清掃6/4 桃ハウス 草刈り 6/4 19

「学校」「PTA・家庭」「地域」それぞれの立場から、月別取組内容を明記！

#### 作成にあたっての校長の意図・ねらい

- ・学校としてのCSの取組の取組像を全教職員で把握したい。
- ・各取組の関連性を見える化し、内容を精選したい。
- ・地域の方にも共有していただきたい。

### ○蔵持小学校(一部抜粋して掲載)

	8月	9月	10月	11月	12月
1年		音遊び ・高齢者学級 ・ボランティア	芋掘り		
2年			野菜苗植え・世話・収穫(学校畑)		
6年				被弾ピアノ 平和学習(いきいき)	
学校全体	PTA環境整備 運動場草刈り		蔵持市民センター 学校運営協議会 ハンティングデール交流		

全学年の取組内容を月別に明記。学校全体に関わる取組は別枠で！

#### 作成にあたっての校長の意図・ねらい

- ・計画的に余裕をもって取組を進めたい。
- ・各取組の確実な引継ぎにつなげたい。
- ・教職員が地域を知るきっかけにしたい。

## 「CSカレンダー」が有効な点

「社会に開かれた教育課程」  
～カリキュラム・マネジメント～

### ・学校と地域の協働取組の全体像が見える

一部の学年や特定の時期だけでなく、学校全体の年間を通じた取組を「見える化」することで、学校内だけでなく学校と地域等との情報共有が進むとともに、教科との関連性を含めた内容の確認・精選が可能になります。

### ・計画的な取組ができる

「いつ、何をやる」という具体が見えることで、関係する全ての人が見通しをもって準備や活動に当たることができ、活動に余裕が生まれます。特に新しく担当することになった職員や地域の方にとって、活動のヒントになります。

### ・持続的な取組が可能になる

取組を「見える化」することで、関わっていただく方が増えるとともに、CSについての理解度が高まり、継続した取組につながることが期待できます。

### 作成校からの声！(箕曲小)

- ・教職員をはじめ保護者や地域の方が新年度当初に見通しをもってスタートすることができるようになった。
- ・学校運営協議会委員も含め、地域の方にもたいへん好評。
- ・今まで教職員が知らなかった地域の動きを知ることができ、地域行事への参加のきっかけとなった。

### 作成校からの声！(蔵持小)

- ・学校運営協議会で出された多数の取組案を整理したことがきっかけ。
- ・市民センターにも掲示していただいております。
- ・市民センターをはじめ、外部との打合せも機を逸することなくスムーズに行うことができるようになった。
- ・全職員が随時更新できるようにしたい。

## 作成のポイント！

- ・学校や児童生徒、地域の課題を的確に捉えている。
- ・校長の意図・ねらいが表れている。